

# 平成18年度 教員公募に関する 「高倉小学校の教育目標と経営方針」

## 1 高倉小学校と校区の概要



本校は、明治2年創立の番組小学校5校が都市部の少子化により様々な問題を抱えた中、将来の子どもたちの教育を考え、地域の方々が大英断をくだされて平成7年4月に統合し開校された7学区を校区とする小学校です。

校区は、京都市の中心部に位置し、京扇子や茶道具、染め物などの伝統産業、祇園祭や生け花などの伝統文化、高瀬川・本能寺跡・池田屋騒動跡などの歴史遺跡、錦市場や新京極・河原町などの京都を代表する商店街など歴史的文化的価値に富む地域です。

## 2 教育目標及び経営方針



### 教育目標

**翔** はばたく **キラキラえがおの高倉っ子**

求める子ども像 「知・徳・体」にバランスのとれた子ども

- やさしさ...やさしさをひめ、受け入れる心をもつ
- かしこさ...するどさを感じさせ、感動する心をもつ
- たくましさ...たくましさとしなやかさを備え、チャレンジする心をもつ

### 経営方針

本校は、統合し11年目の新しい出発の時をむかえました。

学校教育目標にもあるように、今、子どもたちに育てたい力は「将来にわたって豊かに生きていける力」であると考えています。今、求められている学校教育の創造は、平成14年度より「新しいタイプの学校運営に関する実践研究」の指定のもと、「スマイル21プラン委員会」学校運営協議会を教育活動の根幹に据えて、確かな学力と豊かな心を育む高倉教育「高倉モデル」の発信を求めた学校・家庭・地域ならびに大学とのさらなる連携の在り方を目指し取組を進めています。

文部科学省「コミュニティ・スクール調査研究校」「総合的な学習の時間モデル校」ならびに、京都市教育委員会「学校運営協議会の運営に関する実践研究」「みやこパイロット・スクール（教科担任制）」「情報教育校内LAN推進校」「理科大好きスクール」等の指定を受けています。

指導の方向性として、次の力の育成を掲げています。



#### 様々な課題に直面してもよりよく問題を解決していく力

- ・自ら学び続け、バランスのよい考えができるなどの経験を積み重ねる。

#### 人と出会い、かかわることで人格を成熟させていけるコミュニケーション能力

#### 新しいものを生み出す独創性と創造性

- ・新しい発想に立ち物事を考え、発見・構成する力、「知の創造」のできる力を培う。

わたしたちは、高倉教育を担わせていただいている一員として、このような子どもたちの健やかな育ちを願う多くの方々の期待に応えることの責務と誇りをもちながら、ともに「夢・希望・感動」を追い求めている毎日です。

### 3 重点をおく取組

#### (1) 学習指導力の向上を図る教科教育の研究と実践

高学年における社会，理科，体育，音楽等の教科担任制や中学年での交換授業を実施する。

全教員が国語，社会，算数，理科の4教科部会に所属し，全体授業研究会や教科別授業研究会，教科部授業研究会を実施し指導力の向上を目指す。総合教育センターの指導のもとに，「仮説をもった授業」「手だての明確な授業」を通して授業づくりの実践研究を積む。

京都大学大学院教育学研究科「田中耕治研究室」や市内外の指定校等の小学校と共同授業研究を進める。



#### (2) 学校・学級経営力の向上



学級学年経営委員会と各教科部との連携のもと，子どもたちの学習習慣や学習姿勢を充実強化する取組を研究する。

自律，自治，友情をはぐくむよりよい生活習慣の育成を目指す取組を研究する。

よりよい人間関係をはぐくむ集団のあり方と奉仕活動のあり方を研究する。

地域，保護者，学識者との連携による学校運営の実践研究を進める。

#### (3) 評価方法の工夫と学力の見取りの充実

国語，社会，算数，理科等の基礎・基本の学力向上の指導の充実につながる評価記録簿の見直しと工夫を図る。併せて，子どもの学力を見取る評価方法の研究とその工夫を図る。

授業等について保護者や子どもからの評価をもとに，その結果の活用について検討する。

#### (4) 体力と気力の向上を目指す健康教育の充実

年間を通して実施する毎朝のランニングキッズの充実を図る。

秋の中間ランニングと冬の全校縄跳びを通して，体力と気力の向上を図る。

栄養職員を中心として「食についての教育」を全校的に実施する。



### 4 地域・保護者・大学との連携による高倉教育の推進



#### ～『スマイル21プラン委員会』（学校運営協議会）～

平成14年度より，地域代表・保護者代表・学識者・公募委員・学校関係者からなる組織『スマイル21プラン委員会』を立ち上げました。

私たちは，10年先を見越して，高倉の子どもたちにとって大切なものは何か，時代の変化とともに変えていく必要のあるものは何か，子どもに継承すべき価値あるものは何かという視点で，学校・家庭・地域・大学が一体

となって『どこでも，いつでも，やさしさと豊かな心と知恵が働く子ども』を育てていかなければならないと考えています。



### 5 来年度，高倉小学校が求める教員



わたしたち高倉小学校の教職員は，子どもの心をゆさぶる教育の営みを探究し続けたいと願っています。是非，先生の力を高倉小学校で発揮してください。

高倉教育の推進に全力を傾注してくださる先生

理科・算数・国語の実践研究を熱心に進めておられる先生